

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 昭和パックス株式会社  
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 河野 弘征  
 (氏名) 白方 茂樹  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3269-5111  
 平成24年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,631	△2.7	407	△14.8	454	△16.4	261	△24.7
24年3月期第2四半期	9,897	△0.6	478	△9.6	544	△5.6	347	1.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 213百万円 (18.1%) 24年3月期第2四半期 180百万円 (35.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	29.47	—
24年3月期第2四半期	39.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	20,499	9,348	44.2	1,020.38
24年3月期	20,091	9,191	44.3	1,002.83

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,064百万円 24年3月期 8,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	3.0	860	10.5	920	3.1	595	22.9	66.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	8,900,000 株	24年3月期	8,900,000 株
② 期末自己株式数	16,220 株	24年3月期	15,243 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	8,884,164 株	24年3月期2Q	8,885,924 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、前年来東日本大震災からの復興需要とエコカー補助金等の政策効果で回復を続けてきましたが、海外経済の減速を受け、急速に停滞感を強めつつあります。鉱工業生産は輸出減少の影響が大きく4～6月期に4四半期ぶりに前期比減少となり、7～9月期も減少が確実です。実質GDPは、4～6月期は外需が成長率を押し下げたものの国内需要が堅調を維持したため4四半期連続のプラス成長となりましたが、7～9月期は、円高と欧州景気の後退、中国をはじめとするアジア経済減速の影響で輸出が減少し、これまで堅調だった個人消費が政策効果一巡で弱含みとなることから民間消費も6四半期ぶりに減少に転じることが予想され、マイナス成長となることが見込まれます。

今後の国内景気は、輸出減少の継続、これまで国内需要を押し上げてきた政策効果一巡に伴い復興需要も減衰していくことなどから、当面は厳しい情勢が続くと予想されます。

産業用包装資材の製造・販売を主要事業とする当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、全般的に出荷数量が前年同期に比べて減少し、売上高は9,631百万円で前年同期比で265百万円の減少となりました。損益につきましては、売上の減少のほか、前年度に子会社で実行した設備投資に伴う減価償却費の増加などがあり、営業利益407百万円（前年同期比70百万円の減益）、経常利益454百万円（同89百万円の減益）となりました。また、有価証券評価損を特別損失で計上したため、四半期純利益は261百万円（同86百万円の減益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### ①重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期比△1.0%と減少しました。米麦用途、砂糖・甘味用途、製粉用途などは横ばいでしたが、化学薬品、合成樹脂用途は大きく減少しました。

化学薬品、合成樹脂用途のシェアが高い当社の売上数量は前年同期比△2.5%と業界よりも減少幅が大きくなりました。

子会社の売上数量は、九州紙工(株)は前年同期比3.3%増、山陰製袋工業(株)の当第2四半期連結累計期間（1～6月）は前年同期比で4.3%増でしたが、タイ昭和パックス(株)の当第2四半期連結累計期間（1～6月）は顧客の生産が前年の洪水の影響から回復しきれていないことから前年同期比で8.7%減少しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,145百万円で、前年同期に対し130百万円の減収となりました。

#### ②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期比で産業用、農業用いずれも減少しました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、当第2四半期連結累計期間では、ナフサ価格の変動を受け一旦値上がりした後値下がりに転じましたが、再度値上がりの趨勢になっています。

当社の売上数量は、前年あった特需効果の剥落で、産業用、農業用ともに減少し、全体で前年同期比△7.4%でした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,951百万円で、前年同期に対し123百万円の減収となりました。

#### ③コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、当第2四半期連結累計期間の海外からの輸入量は震災後の特需があった前年同期を大きく下回り、全体の流通量も減少していると推測されます。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は自社製品、輸入販売品とも減少し、全体では前年同期比△15.2%となりました。大型コンテナバッグ「バルコン」も前年同期比△2.8%と若干数量を減らしました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は797百万円で、前年同期に対し77百万円の減収となりました。

#### ④不動産賃貸

賃貸用不動産と賃貸契約の内容に大きな変動はありませんでした。当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期に対して1百万円減少し、122百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1) 資産、負債、純資産の状況

##### (資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は20,499百万円で、前連結会計年度末から408百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金529百万円、受取手形及び売掛金110百万円、主な減少要因は棚卸資産151百万円、投資有価証券133百万円です。

## (負債)

負債合計は11,151百万円で、前連結会計年度末に比べて252百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金110百万円、支払手形及び買掛金64百万円です。

## (純資産)

純資産合計は9,348百万円で、前連結会計年度末に比べて156百万円増加しました。主に、四半期純利益261百万円と剰余金配当支払53百万円の結果である利益剰余金の増加208百万円と、その他有価証券評価差額金の減少66百万円によります。

## 2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて518百万円増加して4,090百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

## (営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は787百万円（前年同期比276百万円の収入増）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益で414百万円、減価償却費で268百万円、たな卸資産の減少で156百万円、仕入債務の増加で63百万円、売上債権の増加で△107百万円、法人税等の支払で△123百万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は340百万円（同40百万円の支出減）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出321百万円、定期預金の払戻・預入差額による支出10百万円です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は69百万円（同52百万円の収入増）です。主な内訳は、短期借入金の借入・返済差額による収入98百万円、長期借入金の借入・返済差額による収入32百万円、配当金の支払による支出56百万円です。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、全般的な出荷数量の減少により、前年同期比で減収減益の結果となりました。第3～4四半期については、世界的に景気減速感が漂う中、我が国経済も厳しい情勢が続くことが予想されますが、当社グループは国内外の景気動向、原材料の市況動向を見据えながら、新しい商権の獲得と生産の一層の効率化に努め、売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、当初の予想（平成24年5月14日発表）を変更せず、連結売上高19,500百万円、連結経常利益920百万円、連結当期純利益595百万円を見込みます。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響が及びますが、その影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,851,468	4,380,936
受取手形及び売掛金	6,022,904	6,133,544
商品及び製品	1,404,436	1,341,883
仕掛品	100,513	88,977
原材料及び貯蔵品	975,043	898,020
繰延税金資産	158,326	156,686
その他	312,039	334,334
貸倒引当金	△8,146	△4,549
流動資産合計	12,816,587	13,329,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,466,858	6,526,619
減価償却累計額	△4,309,273	△4,401,334
建物及び構築物(純額)	2,157,585	2,125,284
機械装置及び運搬具	7,805,758	7,888,634
減価償却累計額	△6,478,403	△6,640,263
機械装置及び運搬具(純額)	1,327,354	1,248,370
土地	837,653	839,600
リース資産	39,592	39,592
減価償却累計額	△7,661	△10,237
リース資産(純額)	31,930	29,355
建設仮勘定	26,585	143,390
その他	612,833	617,401
減価償却累計額	△543,204	△553,732
その他(純額)	69,629	63,668
有形固定資産合計	4,450,739	4,449,670
無形固定資産		
リース資産	2,527	1,944
ソフトウェア	33,451	27,906
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	45,209	39,081
投資その他の資産		
投資有価証券	2,411,541	2,277,907
繰延税金資産	4,451	4,858
その他	422,867	458,860
貸倒引当金	△60,243	△60,387
投資その他の資産合計	2,778,616	2,681,239
固定資産合計	7,274,565	7,169,991
資産合計	20,091,152	20,499,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,857,380	4,921,895
短期借入金	2,838,600	2,948,720
未払法人税等	132,365	150,192
賞与引当金	301,735	316,202
役員賞与引当金	20,786	19,576
リース債務	7,497	7,497
繰延税金負債	3,364	2,763
設備関係支払手形	7,746	14,368
その他	808,207	866,469
流動負債合計	8,977,684	9,247,684
固定負債		
長期借入金	770,000	799,000
退職給付引当金	162,545	186,072
役員退職慰労引当金	107,489	107,169
環境対策引当金	14,005	14,005
資産除去債務	6,963	6,963
負ののれん	170,989	142,491
リース債務	27,997	24,248
繰延税金負債	468,461	432,172
長期預り保証金	193,028	191,480
固定負債合計	1,921,478	1,903,602
負債合計	10,899,163	11,151,287
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	7,777,488	7,985,963
自己株式	△7,117	△7,502
株主資本合計	8,700,718	8,908,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,920	283,670
為替換算調整勘定	△140,701	△127,610
その他の包括利益累計額合計	209,218	156,059
少数株主持分	282,052	283,671
純資産合計	9,191,989	9,348,538
負債純資産合計	20,091,152	20,499,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,897,234	9,631,273
売上原価	8,204,081	8,017,788
売上総利益	1,693,152	1,613,485
販売費及び一般管理費	1,215,136	1,206,292
営業利益	478,016	407,192
営業外収益		
受取利息	1,363	1,920
受取配当金	36,228	37,208
負ののれん償却額	28,498	28,498
為替差益	881	833
その他	14,993	11,210
貸倒引当金戻入額	15,717	—
営業外収益合計	97,683	79,672
営業外費用		
支払利息	28,877	29,604
その他	2,505	2,365
営業外費用合計	31,382	31,970
経常利益	544,317	454,894
特別利益		
固定資産売却益	1,677	—
投資有価証券売却益	—	73
特別利益合計	1,677	73
特別損失		
固定資産除却損	7,192	1,367
投資有価証券評価損	—	39,135
投資有価証券売却損	116	—
特別損失合計	7,309	40,502
税金等調整前四半期純利益	538,684	414,465
法人税、住民税及び事業税	181,804	148,034
法人税等調整額	△274	1,167
法人税等合計	181,529	149,202
少数株主損益調整前四半期純利益	357,155	265,263
少数株主利益	9,301	3,480
四半期純利益	347,853	261,782

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	357,155	265,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149,008	△66,346
為替換算調整勘定	△27,425	14,546
その他の包括利益合計	△176,433	△51,800
四半期包括利益	180,722	213,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,152	208,624
少数株主に係る四半期包括利益	6,569	4,838

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	538,684	414,465
減価償却費	254,903	268,263
負ののれん償却額	△28,498	△28,498
長期前払費用償却額	1,054	91
固定資産売却損益 (△は益)	△1,677	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	116	△73
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	39,135
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,255	△3,523
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,246	14,466
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	132	△1,210
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,834	23,501
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,237	△319
受取利息及び受取配当金	△37,592	△39,129
支払利息	28,877	29,604
固定資産除却損	7,192	773
売上債権の増減額 (△は増加)	△67,100	△107,400
たな卸資産の増減額 (△は増加)	122,853	156,795
仕入債務の増減額 (△は減少)	△111,137	63,664
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△16,534	△23,887
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	70,351	125,891
その他	△32,556	△37,878
小計	736,640	894,733
利息及び配当金の受取額	37,592	39,129
利息の支払額	△29,251	△23,148
法人税等の支払額	△234,194	△123,652
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>510,787</b>	<b>787,061</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△238,204	△190,000
定期預金の払戻による収入	138,656	180,000
有形固定資産の取得による支出	△262,389	△321,667
無形固定資産の取得による支出	△6,818	△310
有形固定資産の売却による収入	1,677	—
投資有価証券の取得による支出	△14,206	△8,682
投資有価証券の売却による収入	130	102
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△381,155</b>	<b>△340,557</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	97,000	98,000
リース債務の返済による支出	△3,748	△3,748
長期借入れによる収入	—	40,000
長期借入金の返済による支出	△11,000	△8,000
自己株式の取得による支出	△588	△385
配当金の支払額	△62,207	△53,308
少数株主への配当金の支払額	△2,920	△3,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,535	69,337
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,350	2,826
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	136,816	518,667
現金及び現金同等物の期首残高	3,279,207	3,571,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,416,024	4,090,101

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,276,342	2,074,722	875,380	124,155	9,350,600	546,633	9,897,234
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,276,342	2,074,722	875,380	124,155	9,350,600	546,633	9,897,234
セグメント利益	501,803	75,156	7,842	68,562	653,366	△175,349	478,016

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	653,366
「その他」の区分の利益	39,554
全社費用(注)	△214,904
四半期連結損益計算書の営業利益	478,016

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,145,605	1,951,041	797,706	122,840	9,017,193	614,080	9,631,273
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,145,605	1,951,041	797,706	122,840	9,017,193	614,080	9,631,273
セグメント利益	401,490	72,766	11,596	65,394	551,247	△144,055	407,192

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	551,247
「その他」の区分の利益	46,541
全社費用（注）	△190,596
四半期連結損益計算書の営業利益	407,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。